

ガバナー月信

Governor's

Vol. 10

2022.4.01

Monthly Communication

Rotary International District 2690

《2021-22》



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22 年度地区ガバナー

岩崎 陽一

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



鳥取城跡（久松公園 擬宝珠橋）

Contents

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 2……地区ガバナーのメッセージ | 6……コーディネーター NEWS |
| 3……2022-2023年度国際協議会報告 | 10……第4回諮問委員会、地区行事予定 |
| 4……ガバナーノミニー研修セミナー（GNTS）報告 | 11……地区だより（新入会員・寄付など） |
| 5……松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブの紹介 | 12……出席報告 |



〔日本遺産麒麟獅子〕

Rotary
District 2690





母子の健康月間に寄せて

地区ガバナー 岩崎 陽一

4月は母子の健康月間です。

毎年、5歳未満で命を落とす子どもたちは、世界中で約590万人とされています。その原因は栄養失調や適切な衛生設備の欠如、適切な医療を受けられないというもので、どれも予防が可能なものばかりです。

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、2014年のRI理事会でロータリーの重点分野の一つに「母子の健康」を決定しました。そして、①5歳未満の乳幼児の死亡率と罹患率の削減②妊婦の死亡率と罹患率の削減③より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供④保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援といったプログラムを重点に活動しています。

命を落とした子どもたち約590万人のうち、約45%が生後1か月以内に亡くなっています。その乳児死亡の直接的な原因は、早産・仮死・感染症です。しかしこれらは出産前ケアや分娩時における熟練したケア、地域社会における産後ケアなどの医療行為により、出生時死亡率を半分にまで引き下げることが可能だと言われています。

また、生後1か月～5歳の子どもたちの死亡原因は、肺炎・下痢・マラリア・麻疹等で、これらも良好な栄養補給や予防注射など公衆衛生の改善により予防が可能です。

一方で妊産婦、出産後の母親の健康を確保することも、乳幼児に与える影響が大きい為、子どもの健康を改善する上で非常に重要であります。

わが国の乳児死亡率のピークは1899年で19%

でしたが、今では1%以下です。新生児の死亡率は1899年には約8%でしたが、今では0.09%と死亡率の低さは世界トップクラスです。

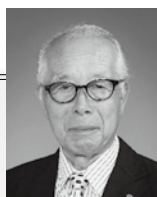
また、わが国の妊産婦の死亡率は出生数10万人あたり3.8人、新生児の死亡率は出生数1000人あたり1人です。一方、世界に目を向けますと、今なお妊産婦の死亡率は出産数10万人あたり210人、そして新生児の死亡率は出生数1000人あたり20人と高い割合であり、この数字に驚かされます。

ロータリーは、世界各地で母子の健康を改善し、妊婦・乳幼児の死亡率を減らすための活動を支援しています。現地の医療従事者を対象とした医療プログラム研修の実施、医療器具や設備、予防ワクチンや抗生物質等の提供、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。

すべての母子が質の高い医療を受けられるように、出産で命を落とす母親がいなくなるように、子どもたちがすくすくと成長できるように、私たちは現地で的確なニーズを把握し、持続可能な支援を続けていかなければなりません。

ロータリー財団の補助金を活用して、母子の健康に取り組んでいただきますよう皆さまへお願いします。





2022-2023年度国際協議会報告

2022-23年度 2690地区ガバナー 友末 誠夫

昨年12月12日、津山ロータリークラブ主催の国際協議会出席の壮行会を開催して頂きました。佐藤国際ロータリー理事エレクトや松本研修リーダー等の主賓及び2690地区のロータリー関係者の多くの方々にご臨席を賜り、その上、過分なお饞別までも頂き、「来年の正月明けには温暖なフロリダに飛び立つのだ…」と、かつて仕事で数回訪れたオランダに久し振りに行くことに気持ちが馳せていましたが、オミクロンの急激な拡大に伴い国際協議会は、昨年と同様、今年も開催直前の昨年末に中止となりました。それに伴って、国際ロータリーは2022-2023年度国際ロータリーのジェニファージュンズ会長の所信表明及び取り組み方針説明を今年1月20日深夜（日本時間PM11:00～AM2:00）にWeb配信に切り替えることが通知されましたので、私は1月20日深夜、Web配信のジェニファールI会長エレクトの所信表明と取り組み内容の説明に耳を傾けました。

ロータリー100年、初の国際ロータリー女性会長のジェニファール氏の所信表明は、かつて仕事で経験したロータリーに魅せられた体験談を基にしたロータリーの不思議な力を説明し、私達にもその不思議なロータリーの力を味わって頂きたいと、ロータリーの活動の場をさらに掘り起こして新しいロータリーの活動の機会を創出してロータリーの素晴らしさを楽しんでくださいと語り掛け、それを可能にしたのがロータリーの新しい意識概念、即ちD.E.I.= Diversity多様性、Equity平等性、Inclusion包括性です。D.E.I.は寛容の心で自由に幅広くロータリーの新しい活動の場の創出の必要性を語りました。「その活動で生まれた

絆は次の魅力ある活動の場へと朝の爽やかな目覚めが生じる様にロータリーの活動範囲を広げられることの楽しさを想像してください」と、ジェニファールRI会長エレクトは2022-2023年度の取り組み方針を“Imagine Rotary”をテーマに掲げて私達に熱っぽく語り、併せてそのテーマエンブレムの図形の意味を自ら指差しながら私達に解説したのです。

その後の2月7日～14日は、国際協議会に於ける本会議と個別会議を模した日本版国際協議会ガバナーエレクト特別研修会が全国の同期のガバナーエレクト全員を対象にWeb方式で開催されました。この特別研修を通じて、米国、欧州そして日本等の国々に於いてロータリー会員数減少傾向の実態を知ることが出来ました。これに対処するために国際ロータリー本部は、既存の概念に捕らわれない前述のD.E.I.をロータリーの共通意識に加えられたことで、ロータリー会員数拡大が可能となり、ロータリーの新しい活動の場の創出で次の100年のロータリー継続を方向付けているのです。D.E.I.に反応したジェニファールRI会長エレクトは、“Imagine Rotary”のテーマの下、100年の歳月に培われたロータリーでしか出来ない不思議な力で掘り起こし、新しいロータリーの活動を創出してくださいと、私達に強く奮起を促したのです。





ガバナーノミニー研修セミナー（GNTS）報告

第2690地区ガバナーノミニー 松江しんじ湖RC 石倉 貞昭



2021年12月6日（月）東京JPタワー &カンファレンスで開催されたGNTSに参加。

GNTS開催の案内文には「皆様は2023-24年度地区ガバナーとして、各地区のクラブを指導、監督し、意欲を喚起することで、ロータリーの目的を推進し、効果的なクラブを育てるという重大な役割を担われることになります」と書かれています。

この研修は、そのためのスタート地点であり、全国34地区から32名のガバナーノミニーと15名のパートナーの参加があり、最年少は2500地区紋別港RCの鶴見GN47歳、最年長は私でした。

プログラムは、辰野克彦RI理事の挨拶とRIの現状報告。佐藤芳郎RI理事エレクトの激励と挨拶。三木明ロータリー財団管理委員長のR財団現状報告。菅原裕典GNTSの開催趣旨説明。参加ガバナーノミニーの自己紹介。基調講演2019-20RI研修リーダー山崎淳一氏の「変革と成長のリーダーシップ」そして、3グループに分かれてのグループディスカッション。

特に、自己紹介やグループディスカッション、

又お互いの名刺交換を通じて、多くの同期の仲間を知る機会となった事はこの研修の成果であったと感じています。

12月7～8日の二日間はロータリー研究会がメルパルクホールで開催された。招集者は辰野克彦RI理事。参加者は全国のカバナー、バスターガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーなどおよそ500名規模の一大イベントであり、RI会長ご夫妻も出席される。

研修会ではシェカール・メータ国際ロータリー会長の基調講演(WEB)。RI報告。ロータリー財団及び関連報告、ロータリー米山記念奨学会報告。パネルディスカッション。規定審議会報告とディスカッション。などが行われ、最後に佐藤芳郎RI理事エレクトから、次年度ロータリー研修会の開催案内があり閉会した。

尚、12月6日夜ホテルオークラ東京で、RI会長ご夫妻歓迎晩餐会が開催された。ドレスコードはブラックタイオプション。RI会長ご夫妻は欠席されましたが、400人規模のロータリアンの紳士淑女が参集、親睦と友情の輪が広がりました。





松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブの紹介

松江ヤングリーダーズロータリー衛星RC 議長 勝谷 有史

この度、松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブの設立にあたり初代議長に就任いたしました勝谷有史（かつたにゆうじ）でございます。昨年8月に若手ロータリアン候補者勉強会(Young Rotarian Candidate Association :YRCA)への参加をすすめられ、入会をいたしました。YRCAでは、異業種で活躍されているメンバーから毎回スピーチをいただき大変勉強になりました。私は勉強会の進行役として議長を務めさせていただきましたが、そのまま衛星クラブの議長に就任という重責に大きな不安を感じております。

さて、衛星クラブの設立準備がスタートしたのは、YRCAの活動期間中に、小林会長から松江ロータリークラブがスポンサークラブとなる衛星クラブの設立を目指す方針が示されてからでした。YRCAの全員が衛星クラブに入会すれば設立に必要な条件である最少人数の8名は超えていましたので、まずは設立に向けた「松江RC衛星クラブ細則（案）」を小林会長からご指導いただき作成いたしました。

この細則の作成にあたり、坂出東 四国ロータリー衛星クラブ様の細則を参考にさせていただきました。中国地区では初めての衛星クラブ設立ということもあり、ゼロからスタートする細則作成に他クラブから情報提供をいただけたことは大変ありがたいご支援でした。

そして、細則作成の過程で「ロータリー衛星クラブ」とはどのような会であるかを勉強させていただきました。

当初、「スポンサークラブと衛星クラブ」の関係は、「親会と青年部」の様に推察しておりましたが、衛星クラブの会員もスポンサークラブの正式な会員「ロータリアン」であり、助言や支援をいただきながら既存のロータリークラブとは異なる環境で社会奉仕できるチャンスを地域の人びと

やロータリアンに提供する「衛星的な関係」であることを知りました。

また、従来と異なるクラブの運営方法を取り入れながら、さまざまな内容や形式の例会を行うことができるため、少人数のメンバーが共通の関心をもつ新しい活動ができるメリットがあることも分かりました。

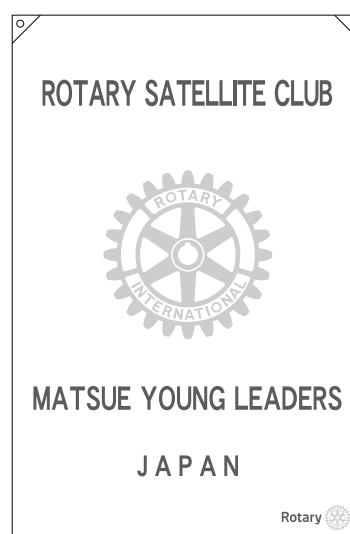
今後の松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブはこのような特徴を活かして、自らのビジネスと両立できるロータリーの社会奉仕活動を行いたいと思います。

しかしながら、私を含めて会員全員がロータリークラブに関する知識が少なく、どのような活動をどの様にすればよいのか分かりません。

これまでロータリークラブと関係がなかった若手経営者はもちろんのこと、私のように父がロータリアンであってもまずはロータリークラブについて学ぶ必要があります。この学びを衛星クラブのスタートにしたい所存です。

ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

（職業分類：旅館業）



クラブ旗



会員増強の障壁 退会者を出さないために

第1地域ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫
(高崎RC)

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんね。では、その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員が「クラブが楽しい」と思うようになるための方策をお話ししましょう。

【原因1】シニア会員が自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、すでにクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなることがあります。「俺はいままでクラブに十分に協力してきた。もういいだろう」という感覚です。でも、クラブを辞めようとはしません。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのでしょう。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的になり、若手の手本になっていないことも見受けられます。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手に接遇をしていないことから、新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくありました。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けず雰囲気醸し出していることがあります。こういったシニア会員たちは必ず言います。「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」と。

例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではありませんが、緊張している新会員は恐れ多くてとてもシニア・グループの側に近づけるものではありません。

新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーです。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことです。彼らの緊張を緩和し、溶け込みやすい雰囲気を作ってあげるのも現役会員の役割だと思います。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、

隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれます。

【解決策1】例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にしました。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができます。なんと楽しいことか、と独りで納得しました。

ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできました。しかもその声は私ではなく、私の女房役の幹事に対して向けられました。でも、幹事はこう言ってひるみませんでした。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」。その後は、誰からもその件についてのクレームはありませんでした。良いと思ったことはやり遂げることが大切です。

【原因2】新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う（クラブを辞める）ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味します。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切です。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ（フォロー）が必要です。

また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむように導くことが大切です。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのです。それが出来ていないと、彼らはロータリーの知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ポツネンと昼メシを食って帰るだけのロータリー活動になってしまいます。これでは続くはずがありません。

【解決策2】メークを奨励する

私の会長年度では、「KOC (Know Other Clubs) キャンペーン」（他クラブを知ろう）というメーク奨励のイ

メントを行いました。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものです。KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員でした。

メークの効用は次のとおりです。

- (1) 他クラブに行き友人に会い、情報交換ができる。
- (2) メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を体験させることができる。
- (3) 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがありました。

- (1) 高崎市外他クラブにメークに行き、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- (2) 高崎市外他クラブにメークに行き、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見つけ、自クラブに誘ったケース
- (3) 他クラブにメークに行き、その場で同業者から仕事が回ってきたケース

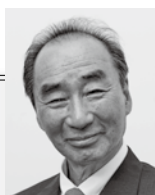
(4) 他クラブにメークに行き、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話です。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結なのです。

最近、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしています。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がその案内役を務めています。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行きました。その経験者は延べで150人を超えています。皆、メークのベテランになりました。

その他、解決策はたくさんあります。苦勞して会員増強活動の結果入ってきた新会員を、簡単には失わないよう皆で考えて欲しいと思います。

*田中久夫著『ロータリークラブに入ろう!』(幻冬舎ルネッサンス新書)から抜粋、加筆



第3地域戦略計画セミナーについて

第3地域ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉
(大阪東RC)

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」

ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期(7月第一週か第二週の土曜日)に毎年交代で担当をつとめ「戦

略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非お声がけください。クラブの会員増強と活性化につながる事のお手伝い出来るように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。



コロナ禍での会員維持増強

第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治
(神戸須磨RC)

新型コロナウイルスの感染の猛威は止まりそうにありません。皆さまのクラブはこのコロナ禍でどのように活動されているのでしょうか。

ロータリーの活動を推進するうえで、会員の維持増強が重要なテーマであることは疑いを容れません。今年度のシェカール・メータRI会長は、“Each One, Bring One”のスローガンを掲げ、会員増強を強く呼びかけられています。コロナ禍で各地区とも苦戦を強いられているのが現実かと思えます。

そのような中、前年度末の6月27、28日に開催された第1第2第3地域合同の「クラブ活性化セミナー」では、会員維持増強に奮闘している地区・クラブが紹介されました。

まずはこれまで会員増強に顕著な実績を挙げ、前年度もコロナ禍を跳ね飛ばして純増5名を達成した大宮西ロータリークラブ（第2770地区、染谷会員発表）から、「入会候補者カード」の活用、会長自ら入会候補者を説得する、クラブ内に共通の趣味を持つことなどで集まる部会制度を設けるというような様々な工夫が紹介されました。

続いて「ロータリーの友（8月号）」でも特集されるなど、今注目を集めている衛星クラブの実例が二つ紹介されました。一つは「典型的な地方都市」を自認する北海道の岩見沢ロータリークラブ（第2510地区、西方会員発表）から市内の若い世代に働きかけて衛星クラブを創立し、自クラブを活性化した経験が発表され、また、全員がROTEX（青少年交換学友）という共通の基盤をもつ国際性豊かな会員で構成する衛星クラブを創立した東京北ロータリークラブ（第2580地区、

浅田会員発表）の発表がありました。

これらの発表を通じ、ロータリークラブにとって衛星クラブとは、単なる会員予備軍の獲得ではなく、ロータリークラブの新たな展開、発展の起爆剤であることを実感しました。さらに、ロータリーの「多様性」を語るうえで重要なキーワードである女性会員の拡大について、女性会員の比率では低位に属する第2680地区（梅原会員発表）から、女性の有業率など客観的な統計データから地区特有の状況を分析し、これからは従来の企業経営者や特別の資格を有する専門職だけではなく、意識が高く、奉仕の精神や思いやりの気持ちを持った「女性社会人全般」を視野に入れる必要があるとの発表があり、会員増強の在り方に一石が投じられたように感じました。

このクラブ活性化セミナーのデータは各地区に配信されています。参加されなかった会員が一人でも多く視聴されることを期待しています。必ずや皆さまのクラブの活性化のヒントを提供することができると確信しています。

*地区ガバナー事務所にデータがありますので、ご希望のクラブはガバナー事務所までお問い合わせください。



第10・第11グループIM開催報告

2690地区第10グループ 会長 杉本 康成
(岡山北RC)

国際ロータリー第2690地区第10、第11グループのインターシティーミーティングをホストクラブ岡山北RC・岡山丸の内RCで令和4年1月30日(日)、ホテルグランヴィア岡山にて開催いたしました。岡山県内に1月27日からまん延防止等重点措置の適用が発表されたため、今回のIMは感染症蔓延の影響を考慮してYouTubeでのオンライン配信で行いました。また、当日の様子は録画し、YouTubeで1か月間の限定公開しました。

当日は、岩崎陽一ガバナー他来賓・発表者12名、ホストクラブ会員18名の合計30名が、開催前に全員の抗原検査を実施し、全員の陰性確認をして、本番に臨みました。

今回のIMのテーマは「看脚下 今こそ、見つめ直し、感じよう我々の豊かさと、活力を」としました。

事業発表においては、感染症の蔓延が広がる中、5つのクラブがいろいろな対策、工夫をして実施し

た地区補助金事業を発表されました。

特別講演では中国学園大学・中国短期大学副学長杉山慎策氏による「山田方谷の経営改革と地方創生」の演題で講演を行いました。

今回のIM開催にあたり当初より感染症蔓延の影響が考えられましたので実行委員会で開催方法の検討にかなりの時間を要しました。オンライン配信とはなりましたが、米林ガバナー補佐、古川ガバナー補佐の開催に向けた強い意志とIM実行委員会メンバーの努力で何とか実施できたのだと思います。会員の皆様の反響については、直接の把握はできていませんが、今後、皆様のご意見を参考に改善し、これからのロータリー活動の在り方の一つになればいいと感じました。



第8・第9グループIM開催について報告

2690地区第9グループ 会長 岡本 浩三
(岡山北西RC)

第8・第9グループ合同インターシティーミーティングは、2月13日(日)、午後13時より、岡山プラザホテルに於いて、ハイブリット形式を活用して実施いたしました。今回のIMのテーマは、「Withコロナ時代のロータリーを考える」とし、サブテーマを、1.コロナ状況下の例会運営について、2.コロナ状況下の会員増強、退会防止についてとして、2名のパネラーを選出し、パネルディスカッションを実施。アドバイザーとして、国際ロータリー理事エレクト 佐藤芳郎様(岡山南RC)にお願い致してディスカッションを進めて参りました。第8グループからは、ご苦心と、意気込みの報告、第9グループからは、エンジョイロータリーをいつも意識されての活動報告。活気ある内容でした。基調講演は、国際ロータリー理事エレクト、佐藤芳郎様から「ロータリーの不易流行」の演題で“ロータリーが

変えてはいけぬもの、時代に合わせて、進化出来るならば変えていこう”そしてロータリーを育てて行こう このために何をすればよいか考えましょう」との内容で、約1時間に亘り講演を戴きました。ロータリアン一人一人が自分の扉を開き多様な人生を持ち、魅力あるロータリーを育てて戴きたいと結ばれました。最後に岩崎ガバナーから厳しい環境の中、良いIMであったと感謝の言葉を戴きましたが、遠路雪の中を吉田地区代表幹事と共に会議に参加戴き有難うございました。今後共宜しくご指導お願い致します。以上紙面の関係で、充分なる報告では御座いませんが、IM報告と致します。



第4回諮問委員会

■日時：2022年2月19日(土)11:30～13:30
■会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸

1. 報告事項

- ①2022学年度ロータリー米山記念奨学生選考結果について
- ②2022学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会について
- ③第14回全国RYLA研究会について
- ④任期満了に伴うRIJYEM社員任命について
- ⑤2021-22年度第2690地区委員会組織図について
- ⑥地区行事予定について
- ⑦その他

2. 地区ロータリー財団事務所より

3. 友末誠夫地区ガバナーエレクト事務所より

4. 次回開催日の確認

2022年3月19日(土) 11:30～12:40
ザ・シロヤマテラス津山別邸

5. 閉会

2021-22年度 国際ロータリー第2690地区行事予定

岩崎地区ガバナー主催
☆友末地区ガバナーエレクト主催

年	月	日	行 事	場 所	時間
2022	4	2(土)	津山ロータリークラブ創立65周年記念式典	ザ・シロヤマテラス津山別邸	
		3(日)	中止	倉敷アイビースクエア	
			第1・第2・第3地域会員基盤向上セミナー		
		10(日)	オンライン	新規ロータリー米山奨学生オリエンテーション	12:00-15:30
		10(日)-14(木)	ハイブリッド	規定審議会	シカゴ(米国イリノイ州)
		16(土)		第1・第2グループIM	境港文化ホール
		16(土)	ハイブリッド	第2回地区インターアクト委員会 インターアクト地区協議会	10:30-11:30 12:30-14:45
		17(日)		出雲南RC50周年記念式典	出雲ロイヤルホテル
		21(木)22(金)		クラブ活性化セミナー 2022	JPタワーホール&カンファレンス
		23(土)	オンライン	第2回全国ローターアクト委員長及び地区RA代表合同会議	
		23(土)		☆ロータリークラブ事務局員研修会	13:00-19:30
		24(日)		☆地区研修・協議会	10:30-17:15
		24(日)	オンライン	第9回全国インターアクト研究会	14:00-16:30
	5	8(日)		岡山北西RC創立30周年記念式典	ホテルグランヴィア岡山
		14(土)		境港RC創立60周年記念式典	SANKO夢みなとタワー
		15(日)		☆第4回次期ガバナー補佐会 ☆次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナー 2022-23年度ロータリーの友地区代表委員オリエンテーション	11:30-13:00 13:30-16:00
				地区奨学生オリエンテーション	
		21(土)-22(日)		第14回全国RYLA研究会	ホテルニューオータニ鳥取
		22(日)		備前RC創立50周年記念式典	
		28(土)		倉敷RC創立70周年記念式典	
		28(土)	オンライン	ローターアクト地区年次大会(短縮開催)	
		29(日)		第6回諮問委員会	11:15-14:00
				ホテルニューオータニ鳥取	
	6	4(土)-8(水)		国際大会	ヒューストン(米国テキサス州)
		4(土)-5(日)		ローターアクトリーダーシップフォーラム	
		12(日)		第4回ガバナー補佐会	11:15-14:00
		18(土)-19(日)		RI日本青少年交換研究会(RIJYEC)・熊本会議	くまもと森都心プラザ
				地区ロータリー財団監査委員会	
				第2回地区青少年交換委員会・新旧引継会	
		25(土)	中止	青少年交換学生壮行会	
		25(土)		2021-22年度・2022-23年度合同地区危機管理委員会	13:00-15:00
		26(日)		☆米山指定校選定委員会	ANAクラウンプラザホテル岡山
		26(日)		RI理事就任祝賀会	ANAクラウンプラザホテル岡山

2022年 2月

地区だより

新会員
紹介由良 浩二
米子東RC森田 進
米子東RC有木志津加
津山RC片山 英之
津山RC吉野 博
岡山東RC山下 真弘
岡山中央RC

ロータリー財団への寄付

メジャー
ドナー
レベル2岩崎 陽一
鳥取西RCメジャー
ドナー
レベル1平木 章夫
倉敷RCポール・
ハリス・
フェロー
(年次基金への寄付)池内 勝彦
鳥取RC英 義人
鳥取RC若本 憲治
鳥取RC

クラブ年次基金

鳥取RC 1413.04ドル (ミリオンダラーミール)
平田RC 185ドル (その他)

メモリアル・コントリビューター

倉 吉RC 豊田富美恵 夫 (元会員)・豊田 勲のために
鳥取西RC 児島 良 母・児島壽美子のために岡田 孝文
総社吉備路RC清水 宏之
総社吉備路RC山田 雅晴
真庭RC

米山記念奨学会への寄付

米 山 功 労 者

影山 昌秀
米子中央RC野津 一成
米子東RC面谷 博紀
米子東RC小谷 維夫
米子東RC宮本 守
米子東RC今出 上
米子東RC

クラブ特別寄付

笠岡RC 26,400円 (米山ランチ)

クラブ普通寄付

米子中央RC 80,000円
平田RC 92,500円
益田RC 95,000円
益田西RC 130,000円
総社吉備路RC 62,500円
倉敷南RC 177,000円
岡山北西RC 110,000円
岡山北RC 125,000円

月信2月号 (Vol.8) の訂正とお詫び

以下の誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

P9 国際協議会中止のお知らせ

[正] オーランド

[誤] オークランド

月信3月号 (Vol.9) の訂正とお詫び

以下の誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

P4 米山記念奨学生選考会報告

[正] 2022年1月16日(日)

[誤] 2021年9月26日(日)

出席報告 (2022年2月)

クラブ名			ホームクラブ 出席率（％）	例 会 数	会員数			
					7月1日	2月 末日	内女性 会員	増減
第1グループ	智 頭	80.00%	3	4	5	0	1	
	倉 吉	95.39%	4	42	40	2	▲2	
	倉吉中央	80.26%	4	19	19	2	0	
	倉 吉 東	100.00%	4	47	46	4	▲1	
	鳥 取	85.22%	2	55	60	3	5	
	鳥取中央	78.79%	1	36	33	2	▲3	
	鳥 取 北	76.92%	1	43	43	5	0	
	鳥 取 西	72.88%	2	60	60	3	0	
	小計(8)	—	—	306	306	21	0	
第2グループ	境 港	—	0	41	42	1	1	
	米 子	—	0	66	69	3	3	
	米子中央	63.16%	1	40	41	1	1	
	米 子 東	—	0	108	109	11	1	
	米 子 南	—	0	66	64	4	▲2	
	小計(5)	—	—	321	325	20	4	
第3グループ	松 江	74.57%	3	58	65	0	7	
	衛星クラブ	50.00%	2	0	10	5	10	
	松 江 東	73.91%	1	46	46	4	0	
	松 江 南	84.38%	1	66	68	7	2	
	松江しんじ湖	—	0	41	45	9	4	
	隠岐西郷	—	0	23	23	2	0	
	小計(5)	—	—	234	257	27	23	
第4グループ	平 田	85.71%	2	37	38	3	1	
	出 雲	85.42%	2	49	49	1	0	
	出雲中央	78.26%	3	46	47	3	1	
	出 雲 南	95.13%	3	75	77	5	2	
	大 社	69.84%	3	50	50	4	0	
	小計(5)	—	—	257	261	16	4	
第5グループ	江 津	100.00%	3	37	38	2	1	
	浜 田	73.58%	1	53	53	2	0	
	益 田	—	0	19	19	3	0	
	益 田 西	—	0	26	26	1	0	
	大 田	—	0	23	24	2	1	
	小計(5)	—	—	158	160	10	2	
第6グループ	井 原	—	0	44	43	1	▲1	
	笠 岡	86.03%	4	47	50	4	3	
	笠岡東	85.71%	2	39	40	0	1	
	新 見	80.95%	2	19	22	3	3	
	総 社	—	0	17	17	2	0	
	総社吉備路	—	0	29	25	2	▲4	
	高 梁	75.71%	2	35	35	1	0	
	玉 島	—	0	27	29	4	2	
	小計(8)	—	—	257	261	17	4	

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例 会 数	会員数			
				7月1日	2月 末日	内女性 会員	増減
第7グループ	児 島	57.89%	1	21	21	0	0
	児 島 東	—	0	11	11	0	0
	倉 敷	—	0	72	76	1	4
	倉敷中央	—	0	15	15	5	0
	倉 敷 東	—	0	39	36	3	▲3
	倉 敷 南	—	0	61	59	3	▲2
	倉敷水島	70.00%	2	23	22	1	▲1
	倉敷瀬戸内	52.94%	1	39	40	0	1
	小計(8)	—	—	281	280	13	▲1
第8グループ	真 庭	75.81%	2	31	31	1	0
	美 作	—	0	23	27	1	4
	津 山	83.33%	2	90	98	6	8
	津山中央	96.15%	2	14	13	3	▲1
	津 山 西	87.14%	2	34	36	6	2
	小計(5)	—	—	192	205	17	13
第9グループ	備 前	100.00%	1	45	48	5	3
	岡 山	—	0	117	118	4	1
	岡 山 東	100.00%	3	97	99	0	2
	岡山北西	—	0	45	43	3	▲2
	岡山後楽園	—	0	49	51	0	2
	小計(5)	—	—	353	359	12	6
第10グループ	岡山旭川	—	0	37	37	3	0
	岡山中央	74.36%	3	25	26	5	1
	岡 山 北	—	0	46	50	4	4
	岡 山 南	—	0	163	162	20	▲1
	玉 野	—	0	29	28	0	▲1
	小計(5)	—	—	300	303	32	3
第11グループ	岡山備南	—	0	23	22	1	▲1
	岡 山 城	88.89%	1	20	20	0	0
	岡山岡南	68.42%	3	23	20	2	▲3
	岡山丸の内	—	0	47	48	3	1
	岡 山 西	—	0	74	72	7	▲2
	岡山西南	—	0	50	51	6	1
	小計(6)	—	—	237	233	19	▲4

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2021年7月1日会員数	2,896 名
2022年2月末日会員数	2,950 名
内 女性会員数	204 名
純増	54 名
2022年2月出席率 (ホームクラブ)	80.91 %



2021-22年度

国際ロータリー第2690地区

岩崎陽一地区ガバナー事務所

〒680-0942 鳥取県鳥取市湖山町東2丁目133 サンマート3F

TEL 0857-50-1252 FAX 0857-50-1252

E-mail : office@2021-rid2690.jp

HP:https://2021-rid2690.jp



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために